

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域密着型としての介護理念を作成し、職員に理念の意識付けを行っている。玄関やユニットホール・事務所に掲示しており、常に理念の意識を持って業務にあたるよう取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行する前からオレンジカフェの参加や青山保育所との交流を継続している。今年度は保育所の夏祭りに参加することが出来た。	有事の際には地域とのつながりが大きく影響をするため、行事等では交流を深めるよう努めて欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今年度は運営推進会議を集合形式で開催し、委員の皆様から直接いただいた貴重なご意見をサービスの向上に活かすことが出来た。	催し物などはしっかり行っている。事故やインシデントについては運営推進会の都度対応策を検討しており、サービスの向上につなげて欲しい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	別府市の担当者へは事業所の実績やサービスの取組、事業所の事故について報告を行っている。また感染症対策では不明な点があれば都度相談し、より安全にサービスやケアを提供できるよう協力をいただいている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人で毎月開催している身体拘束ゼロ対策員会での意見交換や、職員研修会により職員の意識向上を図っている。事故防止の観点から、モーションセンサーの使用については家族に相談し了承を得るようにしている。ユニットから階段へ通じる扉及びエレベーターの施錠に関しては市役所の担当者に相談し、了承を得たうえで必要に応じて行っている。こ		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				れまでも基本的に身体拘束は行っていない。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月開催の高齢者虐待防止委員会で周知徹底し、実際にあった事例をもとに職員研修会を行っている。特に日常的な言葉遣いや態度についても職員に指導を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各ユニットに成年後見人制度のパンフレットを置き職員や家族が何時でも見れるようにしている。また、施設見学希望者にも必要に応じ説明を行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設見学や他事業所から紹介を受ける時から、電話でも質問や相談に応じている。契約時にはこちらから提示するものや確認事項を作成し、十分な説明が行えるよう、また理解・納得をして頂けるよう準備をしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重要事項説明書には苦情・要望の担当者を明記し、玄関には苦情要望用のポストを設置している。返答については掲示物やスマイル通信等で行い改善に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的な個別面談やユニット会議、普段の業務に出た意見も適宜話し合いを行い、改訂した内容は申し送り簿を活用し反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年3回の個別面談で職員の意見や目標を把握しており、必要に応じて職場環境の改善やスキルアップの支援を行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職場環境の改善やスキルアップの支援については、今後も取り組みを継続し、職員がより向上心を持って働ける職場となる様に努めて欲しい。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人で取り組んでいる職員研修会やオンラインでの外部研修に参加し、研修報告書を回覧し各自のスキルアップに繋げている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンラインでの外部研修への参加や、グループホーム連絡協議会が主催する役員会や研修会に参加する事で意見交換を行うなど、交流の機会を設けている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は入居者様と、洗濯物たたみや食事の片付けなどの日常生活を一緒に行い、尊厳を持って感謝の声掛けを行い対応している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行後は、居室での面会や家族との外出・外泊、また外出レクでの感染対策を緩和しており、馴染の人や場所の関係が途切れないよう支援を行っている。	体調により長時間の外出が困難な利用者は行き先を変更する等、体調に合わせてできるだけ参加していただく。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃の介護業務を、利用者本人がどの様に感じているのか、どのように思っているのかを伺ったり、世間話の中で趣味や嗜好を聞いて介護計画等に活かしている。また、利用者本人が不穏になり落ち着かない場合には、本人の思いに寄り添い、原因の究明に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時や入居後1週間、退院後、半年等の期間を設け、適宜介護計画の見直しを行なっている。また、月に1回のモニタリングを行い、利用者本人の状態に変化が生じた場合にも、本人や家族など関係者と話し合い、介護計画の見直しを行なっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践については介護支援記録に記入し、職員の申し送り簿を活用して情報の共有を行なっている。また毎月ユニット会議を開催し、ケア内容を再確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の研修・伝達はしっかりとしていると思うが、何事もホウレンソウなので情報共有ができると良いと思う。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行してからは、外出や外泊を希望される利用者には適宜対応している。本人の体調については事前に主治医に相談した上で施設の協力を得て実践しており、帰園後に本人の体調管理を徹底して行なっている。	感染症については施設に持ち込まない広げない努力をしていただきたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院受診の際に家族が付き添うが、困難な場合等はヘルパーサービスや福祉タクシーを利用する。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前にかかりつけ医を確認している。また、入居後に本人や家族の状況の変化等による要望にも応じ対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の救急搬送時も含め、家族や主治医と連絡を取りながら病院関係者とも情報交換・経過報告を行なっている。また、入院中に本人の状況を直接確認し、退院後の受け入れなどについても、家族、病院関係者と協議を行なっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に指針の説明を行っており重度化等によりグループホームでのサービス提供が困難になった場合は、速やかに主治医や看護師、家族と相談し今後の方針等、必要に応じて医療機関等との調整を行なっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急隊員による救命救急法やAED等の初期対応の訓練は消防署への予約が取れず未実施であるが、各ユニットに応急手当や初期対応のマニュアルを置いており、ユニット会議等で確認している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は防災訓練を実施する事ができ消火活動や避難誘導の手順を再確認する事ができた。近隣の地域住民への災害発生時の相互協力については継続を依頼している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のプライバシー保護に関わるマニュアルを作成し、周知徹底している。入浴時や排泄時の声掛けや介護についても十分に配慮を行なっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望により入浴日の変更や、自宅での生活習慣の継続のため食事をパン食に変更する方もおられる。その日の体調等によりレクリエーションに参加されるか否か本人に決定して頂き希望に沿った支援を行なっている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の味付けや量など、入居者の嗜好調査を行なっている。アレルギーのみでなく、禁忌食材や飲み物についても、医師や栄養士、家族と相談し代替メニューで対応している。また、入居者と職員と一緒に茶碗拭きやテーブル拭き等を行なっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や栄養士と相談しながら定期的にBMI値を測定・把握し、食事摂取量やカロリー、水分補給の調整、体重管理を行なってい			

				る。食事摂取量が少ない方には、食事形態を変更したり栄養補助食品を提供するなど、柔軟に対応している。夏季に提供していた脱水予防の飲料は味が入居者の好みでなく、他の飲料に変更した。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後必ず口腔ケアを行い、利用者が不穏な場合は時間帯を変えるなどの対応もしている。義歯を使用している方は1日1回洗浄しており、入居者の口腔状態に合わせて液体歯磨き・口腔ジェル・スポンジブラシ等の器具も使用し対応している。		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人に歯科衛生士が配置され、介護職員に口腔衛生の技術指導が行われている。誤嚥性肺炎の防止を徹底して欲しい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者一人一人の排泄パターンや習慣を理解し、職員間で情報を共有し排泄行動の動作、転倒リスクに応じた介助を行っている。排便コントロールは医師と相談し必要に応じ緩下剤を使用しているが、水分補給や毎日の運動も取り入れ便秘の予防に努めている。		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生理的な現象で人の世話になりたくないとの思いも理解できます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日のバイタルサインや体調を確認し、本人の希望に沿うように対応している。また、必要に応じて2人介助を行うなど、安全面にも配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中はレクリエーション活動への参加を促し、生活リズムが整うよう努めている。夜間寝付けない方には水分補給や会話をするなど寄り添いにも配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の薬事情報をケース記録に保管し、全職員がいつでも確認できるようにしている。看護師の指導により薬の目的や副作用		A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬忘れや誤薬については、今後も検討を重ね事故防止に努めて欲しい。

				についても理解している。服薬時は本人に手渡しし、服薬出来ているかの確認まで行っている。また、誤薬が無いよう複数の職員で入居者の氏名、日付などの確認を行っている。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人一人の生活や習慣、趣味などを把握し、洗濯物を畳んだり、テーブル拭きをしたり活躍できる場を支援している。おやつレクでは一緒におやつ作りを行うなど、日々の生活の中で役割を実感していただいている。また、近所の住宅地を散歩し気分転換を行なっている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行してからは、買い物、食事、ドライブ等で外出レクの機会を増やしている。また、家族の運転でドライブに出かけたり、自宅で過ごされ帰園する利用者もあり適宜対応している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの生活習慣でお金を所持している利用者もあり、買い物に職員が付き添い好きな物を購入し、自分の財布から支払って頂く支援も行なっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	携帯電話を持っている方には要望に応じ、電話を取り次いだり会話の仲介を行なっている。またLINEによるメッセージや写真を送信したおり、返事があれば読んで差し上げている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節に合ったホールの飾りを職員と入居者が協力しながら作成し飾り付けを行ったり、写真の掲示を工夫している。また、観葉植物や室温・湿度調整を行い、快適な状態を保っている。雑誌や情報		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		誌の種類を増やし、自由に読んで頂いている。			
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運動不足を心配される方がおられ、天気の良い日には近隣の住宅地を職員と一緒に散歩している。遠方に住むご家族とLINEアプリやズームを使用して会話される利用者のお手伝いを行なった。また、朝刊の購読を希望される方への対応を行なった。職場のOB会から定期的に会報を届けていただいた。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場のOB会から定期的に会報を届けていただいたり、地域の教会から季節のプレゼントを頂いている方がおられる。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、定期的にバイタル測定し健康状態を把握している。必要に応じて医師や家族等に報告・相談し、指示を受け対応している。また、適宜移動時の見守りや付き添いを行っている。居室内でも必要に応じモーションセンサーや手すりを使用し、浴場には滑り止めのマットを設置して安全面にも配慮している。		A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員研修によるスキルアップの取組やユニット会議での話し合い、ホウレンソウでの情報共有を確実にし、より良いケア・支援に繋げて欲しい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、好きな時間にベランダを散歩する方や、居室でゆっくり新聞を読んだり、テレビを見て過ごす方がおられ、本人のペースで生活されている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅から愛用の毛布や掛け布団、ぬいぐるみ・本・アルバム等を持って来られ、居室に飾っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行してからは、外出、外泊の規制を緩和しており本人や家族の意向により戸外に出かけ催事にも参加する事ができている。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	おやつレクでは作業に参加していただけるよう、それぞれに役割をお願いしている。個別レクでは本人の理解度に合わせてゲームを選び対応している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	洗濯物置みは日課っており、名前を確認したり教え合う様子が見られる。また、ホールのソファーに座り会話をされる方もおられる。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者ひとり一人の楽しみや自宅で行っていた事を日課にすることで、生き甲斐を感じられると思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣の住宅地を散歩したり、買物の際に挨拶を交わし職員と一緒に支払いをすることで交流ができている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	慣れ親しんだ職員との会話や作業を一緒に行うことにより、親しみを持っていただけており、不安な時には自然と職員に相談できる関係が築かれている。	職員が元気でないと入居者も元気になれない。運営にも配慮をいただきたい。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も地域交流の推進に努めて欲しい。